

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果の公表について

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果の概要がまとまりましたので、お知らせします。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の実施と内容

(1) 調査実施日

令和5年4月18日(火)

(2) 調査対象校・対象学年・対象児童生徒数

小学校107校 第6学年児童約7,400人

中学校54校 第3学年生徒約6,900人

(3) 調査内容

ア 教科に関する調査(小学校-国語・算数、中学校-国語・数学・英語)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力等に係る内容

上記の①と②を一体的に問う問題

イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

①児童生徒に対する調査(小学校59項目・中学校72項目)

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査

②学校に対する調査(小学校81項目・中学校89項目)

指導方法に関する取り組みや人的・物的な教育条件の整備等の状況に関する調査

3 調査結果概要について

(1) 教科に関する調査結果

ア 全国、千葉県、指定都市の平均正答率（％）と千葉市全体の結果（別添概要の p. 1）

小学校 第6学年	国語	算数
	平均正答率（％）	平均正答率（％）
千葉市	68	63
全国	67	63
千葉県	67	62
指定都市	68	63
全国との比較	1	±0

中学校 第3学年	国語	数学	英語
	平均正答率（％）	平均正答率（％）	平均正答率（％）
千葉市	71	53	48
全国	70	51	46
千葉県	69	51	46
指定都市	70	52	47
全国との比較	1	2	2

※指定都市の値は公表された各指定都市平均正答率の平均値

イ 本市の調査結果に見られる特徴

①平均正答率より

- ・全国の平均正答率と比較して、本市の小学生は、国語は1ポイント上回り、算数は全国と同等である。中学生は、国語は1ポイント、数学、英語は2ポイント上回っている。
- ・千葉県の平均正答率と比較すると、本市の小学生は、国語、算数共に1ポイント上回っている。中学生は、国語、数学、英語共に2ポイント上回っている。

②正答数の分布（別添概要の p. 2～p. 4）

- ・国語、算数・数学、理科いずれの教科において、全国とほぼ同等の分布を示している。

(2) 児童生徒に対する質問紙の調査結果（別添概要の p. 10～p. 21）

ア 「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」

児童→81.6％（全国81.5％より0.1ポイント高い）

生徒→64.2％（全国66.3％より2.1ポイント低い）

イ 「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う、どちらかといえば役に立つと思う」

児童→94.9％（全国95.1％より0.2ポイント低い）

生徒→93.4％（全国93.3％より0.1ポイント高い）

ウ 「5年生まで（1・2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う、どちらかといえばそう思う」

児童→77.9％（全国78.8％より0.9ポイント低い）

生徒→77.4％（全国79.2％より1.8ポイント低い）

エ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強をする」

児童→29.6％（全国25.6％より4.0ポイント高い）

「全くしない」は5.2％（0.6ポイント高い）

生徒→39.0％（全国33.7％より5.3ポイント高い）

「全くしない」は5.8％（0.2ポイント低い）

- オ 「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえば参加している」
児童→48.8%（全国57.8%より9.0ポイント低い）
生徒→29.8%（全国38.0%より8.2ポイント低い）

4 別添概要に公表されている図表一覧

- (1) 問題別平均正答率一覧 (%) [全国・千葉県・指定都市・千葉市] <令和元年度～5年度>
- (2) 正答数分布 [全国・千葉市] <令和5年度>
- (3) 全国平均正答率との差から見る各学校の経年推移表<令和4年度と令和5年度の比較>
- (4) 平均正答率の顕著な向上が見られた学校の取組事例<経年推移の比較から>
- (5) 児童生徒質問紙調査より [千葉市・全国] <令和5年度>

[自己肯定感、将来の夢や目標等に関する意識]

- ・自分には、よいところがあると思うか
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うか
- ・将来の夢や目標を持っているか
- ・人の役に立つ人間になりたいと思うか

[ICT機器の活用に関する意識]

- ・5年生まで（1・2年生のとき）に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用したか
- ・学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思うか
- ・学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っているか

[主体的・対話的で深い学びに関する意識]

- ・5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたか
- ・5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか
- ・5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていたか
- ・5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたか
- ・学級の友達との間（学級の生徒との間）で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができているか
- ・授業で学んだことを、ほかの学習で生かしているか

[家庭での学習に関する意識]

- ・家で自分で計画を立てて勉強をしているか
- ・学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか
- ・学校の授業時間以外に、1日当たりどのくらいの時間、読書をするか
- ・本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行くか
- ・読書は好きか

〔地域・社会との関わりに関する意識〕

- ・今住んでいる地域の行事に参加しているか
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか

5 今後の取り組み

- (1) 児童生徒の確かな学力の定着を図るため、授業改善を推進する。そのために以下のような取り組みを行う。
 - ア 市内全小・中学校において、全国および千葉市学力状況調査の結果等をもとに自校の学力の傾向や課題を把握し、その改善に向けた学力向上アクションプランの見直しを行う。教科の学習の中で1人1台端末をどのように活用していくのか、学校での学習と家庭学習との関連をどのように図っていくのかといった点等についても共有し、学力の向上に生かす。
 - イ 全国学力・学習状況調査の各教科の結果から考察する改善点を示した「指導改善に向けたポイント」や「授業改善のすすめ」を作成し、各学校に配付して、日々の授業での活用を図る。
 - ウ 主体的・対話的で深い学びの実現のために、単元の学習の見通しをもたせて自己調整を促す支援をするなどして、個別最適な学びの充実を図れるようにする。
 - エ 教科指導における、1人1台端末を中心としたICTの効果的な活用の促進を図るとともに、家庭学習での端末の活用を促進するお便りを発行するなどして、家庭学習の充実を図る。
- (2) 「教育だよりちば」やWebサイト等を通して、自分で計画を立てて学習に取り組むことや家庭学習の大切さ、家庭での児童生徒の望ましい生活習慣の在り方、継続して読書に取り組むこと等について、広く保護者に発信する。
- (3) 教育委員会関係各課と連携し、自己肯定感を高めるような指導方法や将来の生き方について考え、夢や目標を持つことができるようなキャリア教育を推進するよう学校に助言する。

6 公表日および公表方法

- (1) 公表日

令和5年10月24日（火）

- (2) 公表方法

市ホームページ

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/kyoikushido/26gakuryokutyousa.html>



問い合わせ先

【教科等の指導、今後の取り組み等に関わること】

教育委員会事務局学校教育部教育指導課 電話245-5981

【全国学力・学習状況調査の結果、データの分析に関すること】

教育委員会事務局学校教育部教育センター 電話285-0900